

2019年度名寄地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

近年は猛暑、干ばつ、長雨等の異常気象により、特に畑作で農作物の減収や品質低下の被害を受けている。

経営耕地面積は高齢化や後継者不在等による離農が進む中で減少傾向にあり、後継者不足や経営規模拡大の限界等で農地の流動化は進んでいない。個々の経営面積が増加傾向にある中、水田転作においては、実需者の評価の高いアスパラガスやスイートコーン等の高収益作物にそばや飼料作物等の省力化を図ることができる作物の導入も合わせて推進する。

2 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

生産目標数量に沿った作付面積を確保し、うるち米については地域特性を生かした栽培により品質と価値の向上を図る。また、もち米については国内主産地としての地位を今後も維持・向上するとともに高品質化を図る。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

需要に応じた飼料用米の生産を行う。

イ 米粉用米

現状生産がないので、需要に応じて生産する。

ウ 新市場開拓用米

現状生産がないので、需要に応じて生産する。

エ WCS用稲

現状生産がないので、需要に応じて生産する。

オ 加工用米

需要に応じた加工用米の生産を行う。従来の加工用米飯・酒造用に加え、スポーツ用食品、「飲むみりん」等新たな製品の開発による需要増に対応するため、作付面積を拡大する。

カ 備蓄米

現状生産がないので、需要に応じて生産する。

(3) 麦、大豆、飼料作物

基本技術の励行と品質を重視した栽培管理を徹底することで、実需者ニーズに即した麦、大豆類を安定的に生産し供給する。飼料作物については、酪農家の需要に応じた生産数量を確保する。

(4) そば、なたね

基本技術、特に湿害対策等の励行指導を徹底し、高単収・安定生産を図るとともに、地域の実需者との契約に基づき、生産数量を確保する。

(5) 高収益作物（園芸作物等）

「アスパラガス」「長葱」「南瓜」「スイートコーン」等の振興作物を主体に、土壌条件に適した品目を選定し、作付面積拡大、高収量栽培技術の導入を推進する。

(6) 畑地化の推進

申請された農地を含む地域との合意がなされる場合に推進する。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	2475.4	2468.9	2350.0
飼料用米	4.8	10.5	0.7
米粉用米	0.0	0.0	0.0
新市場開拓用米	0.0	0.0	0.0
WCS用稲	0.0	0.0	0.0
加工用米	1112.5	1150.0	1200.0
備蓄米	0.0	0.0	0.0
麦	288.0	290.0	345.0
大豆	376.8	380.0	360.0
飼料作物	387.0	380.0	370.0
そば	171.4	180.0	200.0
なたね	0.4	1.5	10
その他地域振興作物			
野菜	443.8	454.0	508.4
花卉	4.8	5.4	6.0
果樹	2.4	2.8	3.5
てん菜	18.3	12.0	12.5
馬鈴薯	29.7	32.0	35.0
小豆	17.3	21.0	30.0
その他	4.0	5.0	5.2

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	施設栽培のアスパラガス	重点振興作物作付助成（施設栽培）	作付面積	(2018年度) 4.4ha	(2021年度) 5.0ha
2	施設栽培の野菜・花卉	振興作物作付助成（施設栽培）	作付面積	(2018年度) 12.6ha	(2021年度) 13.0ha
3	アスパラガス、南瓜、スイートコーン、馬鈴薯（でん粉原料用を除く）、花卉	振興作物作付助成（露地栽培）	作付面積	(2018年度) 365.4ha	(2020年度) 424.0ha
4	人参、大根、長葱、ゆり根、玉葱	振興作物作付助成	作付面積	(2018年度) 37.1ha	(2020年度) 41.5ha
5	でん粉原料用馬鈴薯	工芸作物作付助成 A	作付面積 10a あたり収量	(2018年度) 1.7ha 3,119kg	(2020年度) 0.7ha 4,800kg
6	てん菜	工芸作物作付助成 B	作付面積 10a あたり収量	(2018年度) 18.3ha 5,673kg	(2020年度) 12.5ha 5,700kg
7	小豆	豆類作付助成	作付面積 10a あたり収量	(2018年度) 17.3ha 87.1kg	(2020年度) 25.0ha 180kg
8	別表「名寄地域農業再生協議会が指定する作物」の「野菜」「果樹」「豆類」「その他作物」に指定するもの。	転作作物作付助成	作付面積 カノコソウの販売額	(2018年度) 14.3ha 6,935千円	(2020年度) 12.4ha 8,000千円
9	そば、なたね	そば・なたね作付助成	作付面積	(2018年度) 171.8ha	(2020年度) 205.0ha
10	麦、大豆、そば、なたね、てん菜、でん粉原料用馬鈴薯、別表「名寄地域農業再生協議会が指定する作物」の「野菜」「果樹」「豆類」「その他作物」に指定するもの。	土づくりによる収益力向上加算助成	作付面積 南瓜の 10a あたり収量	(2018年度) 128.5ha 915kg	(2021年度) 110.0ha 950kg
11	別表「名寄地域農業再生協議会が指定する作物」の「地力増進作物」に指	地力増進助成	作付面積	(2018年度) 50.0ha	(2019年度) 44.0ha

	定するもの。				
12	アスパラガス	振興作物新規作付助成	新規作付・更新面積（全体面積）	(2018年度) 3.2ha (84.1ha)	(2020年度) 8.0ha (91.0ha)
13	飼料作物	水田放牧助成（耕畜連携）	作付面積 飼料作物 ha あたり 年間作業時間	(2018年度) 2.2ha 9.4時間/ha	(2020年度) 3.3ha 9.0時間/ha
14	飼料作物	資源循環助成（耕畜連携）	作付面積 牧草の 10a あたり 収量	(2018年度) 2.3ha 2,351kg	(2020年度) 8.5ha 3,263kg
15		畑地化の取組	取組面積	(2018年度) 0.0ha	(2020年度) 1.5ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内として下さい。

2019年度 名寄地域農業再生協議会が指定する作物

野菜	アスパラガス
	長ねぎ
	いちご
	トマト・ミニトマト
	食用ゆり
	ピーマン
	南瓜
	人参
	大根
	玉ねぎ
	スイートコーン
	馬鈴薯(でん粉原料用は除く)
	スイカ
	メロン
	ながいも
	なす
	にら
	にんにく
	はくさい
	キュウリ
	キャベツ
	カリフラワー
	パセリ
	ブロッコリー
えだまめ	
さやいんげん	
さやえんどう	

豆類 (大豆・黒大豆を除く)	小豆
	菜豆(乾燥子実用インゲンマメ)
花卉 (品目)	エリンジウム
	カラー
	キク
	サンダーソニア
	デルフィニウム
	トルコギキョウ
	ユリ
	ルリタマアザミ
	ビバーナム
地力増進 作物	えん麦
	青刈りとうもろこし
	ソルガム
	イタリアンライグラス
	ギニアグラス
	スーダングラス
	アカクローバー
	アルサイククローバー
	クリムソクローバー
	ベッチ
	ペルコ
	カラシナ
	レバナ
	はぜりそう

	たらの芽
	レタス
	チコリ
	ほうれんそう
	わさび
	まくわうり
	とうがらし
	ごぼう
	野菜苗
果樹	ブルーベリー
	ハスカップ
	ぶどう
その他作物	薬用植物
	子実用えん麦
	油糧用ひまわり
	えごま
	花苗

	マリーゴールド
	ひまわり
	キガラシ
	ステビア
	ナタネ
	ハイオーツ
	ライ麦